

社会福祉A

〔例題1〕 「児童養護施設入所児童等調査の概要（平成30年2月1日現在）」にみる社会的養護の状況に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 里親委託となった児童の委託経路をみると、「児童養護施設から」が最も多く、次いで「家庭から」、「乳児院から」の順となっている。
2. 児童自立支援施設における入所児童の就学状況をみると、「小学校高学年」が最も多く、次いで「小学校低学年」、「中学校」の順となっている。
3. 乳児院の入所児童のうち、被虐待経験のある児童が受けた虐待の種類をみると、「身体的虐待」が最も多く、次いで「心理的虐待」、「ネグレクト」の順となっている。
4. 児童養護施設の入所時の児童の保護者の状況をみると、「両親ともいない」が最も多い。
5. 母子生活支援施設への入所理由をみると、「配偶者からの暴力」が最も多い。

【正答5】

社会福祉A

〔例題2〕 フリードマンらが行った実験に関する次の文中の□に入る用語はどれか。

実験者は、「交通安全の市民会」の者と称して戸別訪問を行い、「『気をつけて運転しましょう』と下手な字で書かれた巨大な看板を玄関先に1、2週間設置させてほしい」という大きな要請を行った。この要請のみを行う統制条件では、承諾率は16.7%であった。しかし、「『安全運転』と書かれた10センチ角のシールを窓か車に貼ってほしい」という小さな要請を行った後に、前述の大きな要請を行った条件では、承諾率は76.0%の高さであった。この結果が示す、人から承諾を引き出す技法を□・テクニックという。

1. フット・イン・ザ・ドア
2. ドア・イン・ザ・フェイス
3. セルフ・ハンディキャッピング
4. リスキー・シフト
5. ローボール

【正答1】

社会福祉A

〔例題3〕 異文化理解に関するア～エの記述の正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

- ア. エスノセントリズム (ethnocentrism) とは、自民族の文化や価値観だけを正統のものと考え、他民族の文化に対して否定的、抑圧的、敵対的な態度をとる自民族優越の思想傾向のことである。
- イ. 文化相対主義とは、各文化はそれぞれ与えられた環境に適応する中で歴史的に形成され、固有の価値を有しており、相互に優劣や善悪の関係はないという考え方である。
- ウ. 文化多元主義とは、一つの社会に複数の文化が対等な関係で共存することであり、多文化主義ともいう。
- エ. エスニシティ (ethnicity) とは、近代国家体制のもとで、他の集団とは区別された、血縁、地縁、独自の文化的な帰属意識を共有する人びとの集団のことであり、民族と区別して用いる。

	ア	イ	ウ	エ
1.	正	正	正	正
2.	正	正	誤	誤
3.	正	誤	正	誤
4.	誤	正	誤	正
5.	誤	誤	正	正

【正答1】

社会福祉A

〔例題4〕 調査手法に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 面接法では、データの客観性の確保が困難となることから、調査者と被調査者間のラポール（信頼関係）が形成されてはならない。
2. 非構造化面接は、面接者が被面接者の反応や状況に応じて質問の形式や順序を自由に変えて質問する方法であり、経験の少ない面接者に最も適した面接法である。
3. 質的データを収集する観察法や面接法などと、量的データを収集する質問紙調査などを組み合わせて行う調査の方法をミックス法（混合研究法）という。
4. 観察法は質的データを収集するための方法であり、量的データの収集においては用いられない。
5. 参与観察とは、研究者が調査対象になる人々やその活動の場面から離れることにより、研究者がいることを対象者に認識させずに、外部から見聞きした事象を記録していくことである。

【正答3】